

全エクソーム解析および超微細構造解析を応用した拡張型心筋症の原因遺伝子の探索

1999年から2017年までに拡張型心筋症による心不全のために心内膜心筋生検を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「全エクソーム解析および超微細構造解析を応用した拡張型心筋症の原因遺伝子の探索」という研究を行います。この研究は、1999年1月1日より2017年12月31日までに日本医科大学付属病院循環器内科および日本医科大学多摩永山病院にて、拡張型心筋症による心不全のために心内膜心筋生検を受けた患者さんの原因遺伝子を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：全エクソーム解析および超微細構造解析を応用した拡張型心筋症の原因遺伝子の探索
研究期間：2021年11月1日～2026年10月31日
研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 循環器内科 齋藤恒徳

(2) 研究の意義、目的について

拡張型心筋症は心筋細胞の収縮能力が低下する病気で、心不全の原因になります。心筋細胞の収縮能力低下は心筋細胞の変性の結果起きますが、なぜ変性するのかは明らかではありません。その原因の一つとして遺伝子変異によるものがあり、原因遺伝子の発見を目指します。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

1999年1月1日より2017年12月31日までに日本医科大学付属病院循環器内科および多摩永山病院内科・循環器内科にて、心筋生検を受けられ、かつバイオバンク・ジャパンの「オーダーメイド医療の実現のためのプログラム」に同意され採血を受けられた患者さんのDNAを、次世代シーケンサーを用いた全エクソーム解析を行い、拡張型心筋症の原因遺伝子についての検討を行います。
この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。
試料：DNA、心臓カテーテル時に採取した心筋組織、等
情報：診療録情報（年齢、性別、家族歴、血圧値、心不全指標、心不全の再発などの経過情報、等）

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 遺伝カウンセリングについて

臨床遺伝専門医から遺伝カウンセリングを受けられる体制をとっていますので、ご心配な方は問い合わせ先にご連絡ください。

(7) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学多摩永山病院 循環器内科 医員・助教 齋藤恒徳
〒206-8512 東京都多摩市永山1-7-1
電話番号：042-371-2111（代表） 内線：3226
メールアドレス：tnsaito@nms.ac.jp